



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2024 **2**



1月5日、湊川神社 楠公会館において「第19回 新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催しました。セミナーでは、「協同組合の可能性を考える～コープみやざきの実践から～」と題して、生活協同組合コープみやざき 顧問 真方 和男 様に講演いただきました。
(関連ページP3)





兵庫県漁業協同組合連合会
専務理事

突々 淳 (とつとつ・きよし)

これからの 協同組合間連携を考える

兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫 JCC）の幹事を務めています兵庫県漁業協同組合連合会専務理事の突々です。

皆さんの生活協同組合（生協）と私が所属する漁業協同組合（漁協）との協同組合間連携について考えてみます。

1984年、生協・農協・漁協・森林組合などの兵庫県に所在する各種協同組合の相互連絡・交流、共通課題への対応、協同組合間連携の推進などのために、恒常的な連絡組織として兵庫 JCC は設立されました。設立当時、協同組合運動がもうひとつ大きな力を発揮されていない要因の一つに、携わるに人たちの同志・仲間意識が低いあるいは信頼の絆が弱いと指摘されています。私も生産者組織である漁協は安定して少しでも高く魚を売ろうとし、消費者組織である生協はより良い物をリーズナブルに供給しようとする組織だから、真の連携は難しいと思っていました。

2024年で設立40年目を迎えた兵庫 JCC は、虹の仲間カレッジや産地交流など地道に継続して連携・交流を続け、地産地消の推進事業（通称とれ

びち事業）へと発展させてきました。そして、お互いの役職員の意識、信頼はかなり醸成されていると感じています。

また、国民はその頃に比べて、より豊かな心の持ち主になっていくように感じます。大学生などは2015年に国連で採択されたSDGsを強く意識し、自ら何をすべきか考え行動しようとしています。協同組合の行動はSDGsそのものであり、特に、エシカル消費（地域の活性化や雇用なども含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動）を意識し、みんなが日々の買い物を通して社会課題の解決に向かっていくような世の中になりつつあると思います。生協をはじめとする協同組合は、信頼の絆をさらに強くし、そのリーダーにならなくてはなりません。

かつて、貧困で生活向上を求めて弱者が団結し、組織した協同組合は、心豊かな日本の中で、次のステップにゆつくり一步一步進んでいます。私は40年間を振りかえって、このことを確信しています。

CONTENTS

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 2. 想点 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 3. 新春トップセミナー・賀詞交換会 報告 | 7. 兵庫県のページ/ヨッシーの窓 |
| 4. 兵庫 JCC「協同組合研究・交流会」開催報告 | 8. 初級経理学校 案内/県連行事予定/編集後記 |
| 5. 監事研修会 開催報告/
ピースアクション実行委員会 開催報告 | |

第19回 「新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催

1月5日、湊川神社 楠公会館において、第19回目となる「新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催しました。兵庫県の消費者行政の皆様や、共栄火災海上保険株式会社、会員生協・団体の役員と職員、あわせて30名の方々にご参加いただき、新年の決意を新たにすることができました。

新春トップセミナーでは初めに能登半島地震で犠牲になられた方々への哀悼の意を込め黙祷を行いました。その後、岩山 利久 会長理事の開会挨拶に続き、兵庫県 県民生活部 次長 竹谷 昭宏 様からご挨拶いただきました。そして、生活協同組合コープみやざき 顧問 真方 和男 様から「協同組合の可能性を考える～コープみやざきの実践から～」と題して講演いただきました。真方様の講演では、コープみやざきでは組合員がオーナーであることが最優先に考えてきたこと。そのために組合員の想いを聴くことに注力したことを具体的な事例と共にお話いただきました。お話の中から、組合員と職員が何でも言い合える関係をつくられていることに感銘を受けました。



セミナーの様子



講師 真方 和男 顧問



岩山 利久 会長理事



県民生活部 竹谷 昭宏 次長

その後開催された賀詞交換会には、兵庫県行政の方々にもご参加いただきました。日頃らご指導いただいている行政の方々と友誼団体、会員生協・団体の皆さま、それぞれに賀詞を交換し、交流を深めました。



賀詞交換会 風景



会員生協・団体の皆様



友誼団体の皆様

2023年度 兵庫JCC 「協同組合研究・交流会」を開催

■日時：2023年11月24日(金) 9:00～16:30

■参加者：生協・農協・漁協・森林組合から役職員24名



回収した内袋

①「㈱ハートコープいずみ」

秋晴れの中、JR神戸駅を出発、バスで阪神高速湾岸線を経由し、1番目の見学地の㈱ハートコープいずみを訪問しました。㈱ハートコープいずみは「障害者雇用促進法」に基づき設立され障がい者の自立支援と雇用促進を実践しています。

ここでは、リサイクルプラントを見学し、店舗で出された食品残渣、ダンボール、発泡スチロール、たまごパック、内袋、ペットボトルのリサイクルのしくみを工事長の宮田様から説明を聞きました。



小松菜の加工場での作業風景

②「㈱いずみエコロジーファーム」

2番目の見学地であるいずみエコロジーファームは㈱ハートコープいずみが受託製造した肥料を使用して農産物（小松菜）を生産し、大阪いずみ市民生協へ出荷しています。障がい者の一般就労を支援しており、ひとり一人に合わせて指導し、各自の1年間の目標を立てて、日々実現できるように目標管理をしていました。また、農産物を小松菜に絞ることで、作業の段取りをしっかりと覚えられるように進めていました。



コープ野々井店の説明を受ける参加者

③コープ野々井店

3番目の見学地であるコープ野々井店（9月29日グランドオープン）では大阪いずみ市民生協店舗事業部部長 中津川様から説明を聞きました。店内では、㈱いずみエコロジーファームで栽培された小松菜も供給していました。また、参加者からは、「魚、肉、野菜の品揃えが良く、総菜売り場は楽しい感じがする」「店内の通路が広く確保され、ベビーカーや車イスで来店される組合員も買い物しやすい」という声がありました。

第26回 兵庫県・兵庫県生協連 共催 監事研修会 報告

11月7日、兵庫県民会館において兵庫県・兵庫県生協連共催による「第25回監事研修会」を開催しました。この研修会は、生協運営の健全な発展に果たすべき監事の役割や監査実務の確認と、健全な生協運営を実施するために行っているもので、当日は、8会員生協・3会員外生協から23名が参加しました。

はじめに、日本生協連渉外広報本部法務部の井藤康治氏から、「年間時系列による監事監査のポイント」と題して、監事監査の目的や監事の権限・義務について確認しながら、監事監査のポイントについてご講義いただきました。「難しい内容だった



日本生協連 渉外広報本部
法務部 井藤 康治氏



兵庫県 県民生活部 県民躍動課
消費政策班 兼田 翔一郎 主査

が要点がまとまった内容で有意義な時間となった」「今年監事になったが責任を重く感じ、気の引き締まる思い」などの感想が寄せられました。続いて、兵庫県県民生活部県民躍動課消費政策班の兼田翔一郎主査から「生協の指導検査を実施して」と題して、内部管理態勢についての監査ポイントや総代会・理事会の運営、検査で指摘した事項について事例を挙げながら、ご講義いただきました。

「ピースアクション2023」 第2回 実行委員会を開催

12月12日、「ピースアクション2023」第2回実行委員会を開催しました。イベントごとの班に分かれてそれぞれ今年度の活動の振り返りをしたのち、次年度の方向性や取り組みについて話し合いました。

今年度は8月6日に広島訪問（ピースナイター参加）、11月19日に神戸市兵庫区の戦跡ウォークを開催しました。どちらも語り部さんからお話を聞き、神戸戦跡ウォークは大学生協 学生事務局の学生さん達との協働で進めました。それぞれの振り返りの中で、今後いっそう協働組合間協働につなげていきたい、という意見がありました。

また、3月に開催する「南あわじの戦跡を訪ねるバスツアー」について計画を具体化しました。



各生協・団体からの平和の取り組みの活動報告では、パレスチナ・ガザ地区で起きていることを知るための「ぼくたちはみたーガザ・サムニ家の子どもたち」の緊急映画上映会や「東日本大震災」の津波にのまれた大川小学校の親たちが記録した「生きる」の映画上映会のお知らせや「パレスチナオリーブオイル」の産地、パレスチナ・ガザ地区ヨルダン川西岸地区救援カンパの案内等がありました。

協同組合のかけ橋

JF

JF 兵庫漁連

虹の仲間で森づくり

～ 神出神社(神戸市西区)周辺で開催～

漁業者と消費者が共に手を携えて、豊かな海を支える森を育てていくことを目的に、コープこうべとJF 兵庫漁連が共同で取り組んでいる「虹の仲間で森づくり」は今年で17回目の開催となります。快晴に恵まれた12月2日(土)、神戸市西区にある雌岡山(神出神社周辺)に県内各地からJFグループ関係者、コープこうべの組合員や行政関係者、企業関係者など約90名が集まりました。

JF 兵庫漁連 突々専務理事の挨拶に続き、視察を兼ねて活動に参加された末松信介参議院議員より挨拶をいただきました。その後、NPO法人「ひょうご森の倶楽部」山下広行会長より作業の注意事項の説明があり、全員で準備運動を行いました。

開会式終了後、ヘルメット姿の参加者は13班に分かれ、ひょうご森の倶楽部の指導員の方々に誘導され、次々に森に入りました。指導員の方から作業の説明を受けた後、参加者は周囲に気を配りながら、広葉樹や花の咲く樹を残し、常緑樹や蔓性の植物を除伐しました。除伐作業の際は、除伐した木を倒す時の「倒れます」という大きな声も聞こえ、安全作業が周知徹底されていました。約1時間半の作業を終えると、参加者の方から「空がちょっと見えるようになってきたね」と嬉しそうなお声も聞こえてきました。

除伐作業終了後は、昼食・交流会を行い、締めは、生活協同組合コープこうべ第5地区本部 河端晶子理事より閉会の挨拶をいただきました。

参加者の皆様には海と森のつながりを体感できる活動になったのではないかと感じています。



突々専務挨拶の様子



除伐作業の様子



昼食・交流会の様子

JA

JA 兵庫みらい

理想のブロッコリーを追求する

小野市の池田陽さんは、甘く、ボリュームがある理想のブロッコリーを求めて30もの品種を実験的に栽培し、粒が細かく食感が良い「ゆめさくら」と耐病性に優れた「sk9-099」等に出会いました。

品質の高いブロッコリーを生産するため、ほ場づくりに力を入れています。高温多湿の環境ではカビや細菌性の病害にかかりやすい傾向にあるため、ほ場に25cmほどの高い畝を作り、土に余分な水分が含まれないようにしています。また、排水溝付近を深く掘り、水が溜まるようにすることで、排水が間に合わなかった場合でも、水がほ場に逆流しないようにしています。

収穫や出荷にも工夫を凝らしており、夜間に栄養分が蓄積されるブロッコリーの性質を活かした朝採りを行い、深夜2時から収穫を開始し8時には収穫を終えます。また、出荷用の箱に氷を詰めることで栄養分や鮮度が保たれた高品質なブロッコリーを消費者に提供しています。JA 兵庫みらい小野営農生活センター 営農相談員 掘井 亮介さんは、「池田さんは質の高いブロッコリーを出荷するため、手間を惜しまない生産者です」と話します。

今後も池田さんは、甘くてボリュームのある理想のブロッコリーを求めて品種の研究を続けるとともに、採れたての状態のまま消費者に届けられるよう栽培技術に磨きをかけていきます。





障害者の消費者トラブル

～ご家族と支援にかかわる方々のチェックポイント～

『気づき!』と『見守り!』を作成しました

県内の消費生活センターには、障害者の消費者トラブルが毎年500件程度寄せられており、最近ではインターネットに関するトラブルが目立っています。そこで、代表的トラブル事例として「オンラインゲーム・インターネットゲーム」「出会い系サイト・マッチングアプリ」「デート商法」「お試し購入」について4コマまんがで紹介し、その注意点とご家族や支援にかかわる方々の気づきのチェックポイント、相談窓口をまとめた啓発リーフレット（A3二つ折り）を作成しました。被害の未然・拡大防止にぜひお役立てください。

リーフレットをご希望の方は、兵庫県立消費生活総合センターまでお問い合わせください。

(リーフレットの一部分)

トラブル例 ② 出会い系サイト・マッチングアプリ



事例

スマホに知らない人からメールが届き、「間違いでしょ?」と返信した。相手から「このまま連絡を取りあいませんか?」と誘われ、やりとりが始まった。
ある日、指示どおりにURL^{※2}をタップしてからは、「ポイント購入しないと連絡が取れなくなる」、「私は50万円入金した」などと連絡が来て、ポイントを買った。
貯金がなくなり兄に借金を頼んだら、だまされていると言われた。
(30歳代、男性)

解説

- 相手の好意や興味を利用して、有料の出会い系サイトだと気づかせずにやりとりを続け、次々とポイントを買わせる手口も多いです。
- 婚活や占いサイトなどから関連サイトを獲って出会い系サイトに誘導する手口もあります。
- 知り合った相手から、ギャンブルサイトや暗号資産(仮想通貨)へのあやしい投資話をもちかけられる手口も増えています。
- 普段から交友関係についての話を聞きましょう。

※2:インターネット上のページの場所を知らせる住所のこと

【問合せ先】

兵庫県立消費生活総合センター
学習交流推進課
〒650-0046
神戸市中央区港島中町4-2
電話 078-302-4001

リーフレットのダウンロードはこちら



適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。
能登半島で大きな地震が occurred。犠牲になられた方にお悔み申し上げます。また被災された方、1日でも早く元の生活に戻れることを祈っております。私、今でも地震を感じると背筋が凍り、冷や汗がにじみ、揺れが収まるまで動けなくなってしまいます。揺れはじめ、すぐに大きな地鳴りと共に、大きな揺れがくるのではないかと、という不安、とても、嫌ですね。阪神淡路大震災の記憶は残っています。

さて、霊感商法のお話のまとめです。宗教などの不当な勧誘によって高額な寄附を迫られて、家庭が困窮し崩壊したりする例を受けて「不当寄附勧誘防止法」が制定され、令和5年6月1日に施行されました。これまでの数か月間のお話をまとめますと「不当な寄附の勧誘行為は禁止! 霊感商法等の悪質な勧誘による寄附や契約は取消することができます」ということです。宗教問題に詳しい弁護士の先生がこう言われていました。「宗教について正しい知識を持てば、被害に遭う確率も低くなるのではないかと」日本では宗教に馴染みのない人が多いのではないのでしょうか。仏教やキリスト教という言葉やおよその知識はあっても、実際に寺に参ったり、教会へ通ったりする人は少ないように思います。私自身も、これを機に宗教の勉強も始めてみようと思った次第です。



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

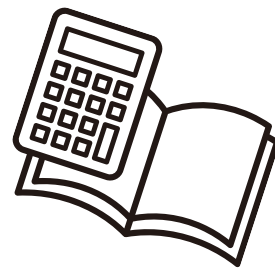
MOVE

兵庫県生協連「初級経理学校」 受講者募集

1. 日 時 2024年3月7日(木) 13:30~16:30
2. 実施方法 オンライン (Zoom)
3. 内 容 決算関係書類の見方を理解し、経営分析の手法について学びます。ケーススタディでは決算関係書類の事例や自生協・会社の数値をもとに実際に各種経営指標を算定し、経営状況を分析する演習を行います。

経営分析の基礎

- ① 決算関係書類の見方
- ② 経営分析の目的と考え方
- ③ 収益力を分析する
- ④ 安全性を分析する
- ⑤ 生産性を分析する
- ⑥ ケーススタディ



4. 対 象 会員生協・団体（関連会社含む）の役職員
5. 講 師 日本生活協同組合連合会 管理本部 経理部 湯浅 慶星氏
定 員 20人
6. 受 講 料 無料
7. 申込締め切り 2月22日(木)
8. 申し込み・問い合わせ 兵庫県生活協同組合連合会 TEL 078-391-8634

県連行事予定

- 2月1日(木) ひょうごまるごと健康チャレンジ
2023実行委員会 (オンライン)
- 2月5日(月) 第5回 理事会 (県民会館 鶴)
- 2月9日(金) 兵庫JCC 虹の仲間づくりカレッジ (三木市 協同学苑)
- 2月13日(火) 第3回生活問題研究会 (オンライン)
- 2月15日(木) 第3回共済生協部会 (県民会館 302)
- 2月20日(火) ピースアクション実行委員会 (県民会館 1202)
- 2月27日(火) 第4回 組合員の参加を考える研究会 (県民会館 901)

編集後記

このたびの令和6年能登半島地震におきまして、亡くなられた方々のご冥福を深くお祈りいたしますとともに、被災されたすべての皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

テレビのニュースを観ているだけでも今でも涙が出ます。今は現地向かうことも出来ずやるせない気持ちですが、この先には被災地と支援側が救済ではなく復興と未来創造に向けて共に歩き出す、共助の支援ができることを願っています。

1月17日に「1・17ひょうごメモリアルウォーク2024」に参加し、王子公園から人と防災未来センターまで歩きました。ひとりひとりの自助の積み重ねが、共助につながります。自分の命は自分で守るため、南海トラフ地震に備えて日頃から災害に対する備えが重要だと実感しました。

《吉本》

